

『 入れたいな 』 1歳児 9月



エピソード

ペットボトルに A ちゃんは泥水、B ちゃんは小石を入れて遊んでいました。A ちゃんは途中から春雨に興味をもち春雨を入れようと片手で握るように掴み、ペットボトルの口をめがけて落とすように入れていました。ただ、うまくは入らず、どんどん口の上に積みあがっていき、春雨が山のようになっていました。「いっぱいだね」と保育者が A ちゃんに声をかけると、「いっぱい」と嬉しそうにしていました。

一方 B ちゃんは、A ちゃんのペットボトルの状態に興味をもったようで春雨を摘まみ、A ちゃんのペットボトルに入れ始めました。ただ、B ちゃんの手元をよーく見てみると、春雨の中に埋もれている小石を指で探して摘まもうとしています！A ちゃんと同じように春雨を入れたいのではなく、B ちゃんは小石を入れることを真剣に続けていたのでした。

保育者の思い

2人のしたい思いや集中して遊んでいる姿を大事にしたいと考え、あまり声を掛けず見守りました。子ども達が何を求め、何に興味を持っているのか、何をしたいと考えているのか、子ども達の姿を見て、声掛けをしたり、時には見守ったりしながら、関わっていくことを大切にしていきたいと思えます。

子どもの育ちや学び

- ・指先を使って摘んで入れる
 - ・・・集中力、器用さ、思考へ
- ・遊びの繰り返し
 - ・・・意欲、持続力へ
- ・友達と同じペットボトルで遊ぶ
 - ・・・友達を意識する、共有する喜びへ

家庭だったら・・・

○空きペットボトルを利用して遊ぼう。

- ・小さな物を使って、ペットボトルの口から中に入れてみましょう。

(例えば・・・小さく切ったスポンジ・短めのストロー ※誤飲等に注意!!)

⇒子ども達が何か面白い感じていることを、一緒にしてみることで、楽しさを共有できると思います。